

レポート課題 (1) 「寺田寅彦『〇〇〇』を読んで」

地球物理学者であった寺田寅彦は、夏目漱石の門下生として交流を深めるとともに、科学を題材にしたエッセイを多数残しています。そこで、いくつかのエッセイを読み、自分のお気に入りを1つ選んで、レポートをしてください。

課題

- 課題タイトル **寺田寅彦『〇〇〇』を読んで**
- 内容を簡単にまとめた後、自身で考えたこと（調べたこと・研究したこと）を述べよ。
（絶賛する必要はない。寺田のコメントに異論があれば、そのようにレポートして欲しい。）

提出手順

- A4 用紙 3-4 枚程度。手書き・PC 印刷どちらも可。表紙は不要。（手書きの場合は写真撮影したものを提出）
- 必要であれば、図や表を添付してよい。（上記のページ枚数に含める）。
- 〆切は、**10月31日(金) 22:59**
Google Classroom の課題として提出。
- 提出ファイルの名前は、「P 大日 XXXXXXXX 〇〇〇〇」の形式とすること。（XXXXXXX は学籍番号、〇〇〇〇は氏名）とすること。本文中にも学籍番号と氏名を記入すること。P は physics の頭文字で、ファイルを区別するため。
- 参考とした文献（web ページ含む）などがあれば、**必ず**記すこと。剽窃行為が認められる場合は評価を下げます。（参考文献から引用するのは構いませんが、引用範囲は必ずそう明記すること。）

Remarks

- 寺田寅彦のエッセイは、文庫や単行本で多くが出版されています。また、文章は著作権が切れているため、web 上で全文を入力したページがあります。例えば、「青空文庫」
<https://www.aozora.gr.jp/>
では、300 編近くの作品が読めます。
- 昨年も同じレポート課題を出しました。次のようなエッセイが選ばれていました。（順不同）
『アインシュタインの教育観』『ある日の経験』『怪異考』『科学者とあたま』『科学者と芸術家』『科学と文学』『柿のたね』『学問の自由』『変わった話』『コーヒー哲学序説』『金平糖』『錯覚』『さるカニ合戦と桃太郎』『自然界の縞模様』『試験管』『数学と語学』『線香花火』『小さな出来事』『蓄音機』『茶碗の湯』『チューインガム』『津波と人間』『電車と風呂』『電車の混雑について』『「手首」の問題』『天災と国防』『凍雨と雨水』『どんぐり』『とんびと油揚げ』『鉛をかじる虫』『日常身の物理的諸問題』『ねずみと猫』『俳句と地球物理』『比較言語学における統計的研究法の可能性について』『漫画と科学』『森の絵』『竜舌蘭』『わが中学時代の勉強法』『笑い』
- **単なる感想文ではなく**、何か自分で少し研究してみたこと（考察・調査・実験など）をレポートしてもらうことを期待しています。「物理」のレポートであることを心がけてください。